

第3章 道路情報提供装置

1 適用範囲

この規格は、主として設計速度が概ね80km/hまでの高規格道路（高速自動車国道を除く。）の道路情報表示装置に適用するものとする。

2 計画箇所

主要な幹線道路において異常気象時等の理由により交通障害の発生が予想される区間に道路情報板を設置する。

3 構造形式

フリーパターンの情報板は、固定表示項目の情報板に付加機能を加えることにより固定項目表示項目の他、フリーの情報を表示することができるものである。

4 表示方式

- (1) 表面に配置されたLEDにより文字を形成するものとする。
- (2) 表示字数は、設置する場所により、14文字1段（オーバーヘッド型）及び7文字2段（オーバーハング）を標準とし、3ブロックに分割して変換できるものとする。
- (3) 各ブロックの固定表示項目は、それぞれ25項目（消滅を含む。）

5 表示方法

- (1) 14文字1段（オーバーヘッド型）

7文字	3文字	4文字
(Aブロック)	(Bブロック)	(Cブロック)

表示方法は固定表示項目（3ブロック25可変）及びフリーパターン式とする。

- (2) 7文字2段（オーバーハング型）

7文字		(Aブロック)
3文字	4文字	
(Bブロック)	(Cブロック)	

表示方法は固定表示項目（3ブロック25可変）及びフリーパターン式とする。

6 積雪対策

積雪地域等においては、積雪耐雪型を検討すること。

7 主制御機及び操作機の構造

主制御機及び操作機の構造及び外観は、図6-3-1、図6-3-2のとおりである。

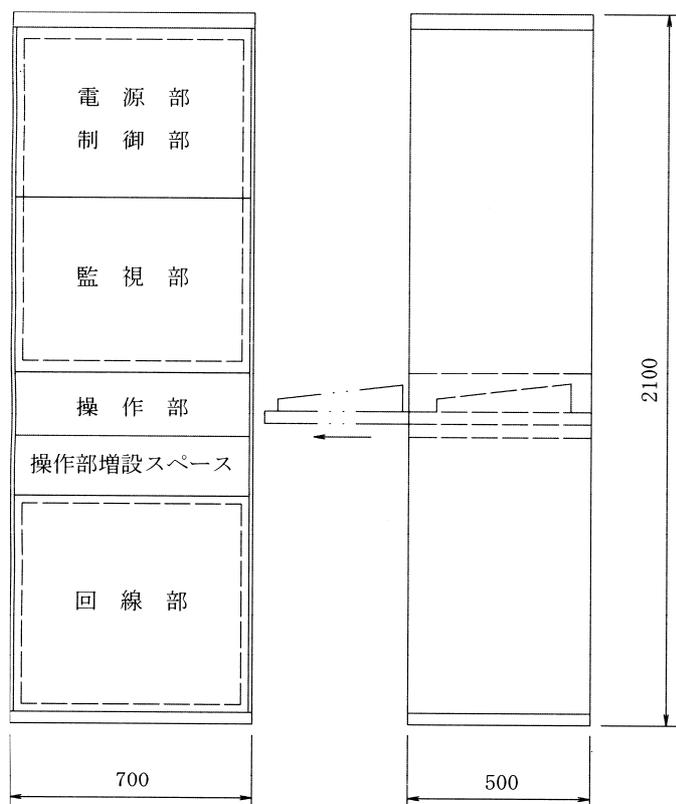


図6-3-1 主制御機外形図（参考図）
寸法は概略寸法とする（単位はmm）

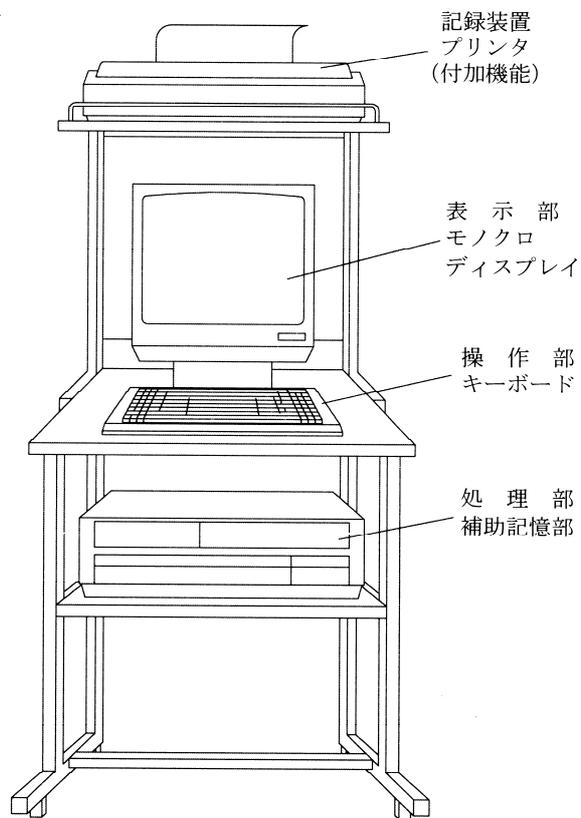


図6-3-2 操作機外形図（参考図）

(参考)

道路情報板表示項目例

Aブロック		Bブロック		Cブロック	
項 目	備 考	項 目	備 考	項 目	備 考
○ k m 先		濃 霧	※必要により警報 発令、注意報発 令等を加える。	片 側 通 行	※通行止は赤色表 示する。
		積 雪		一 方 通 行	
		大 雪		通 行 注 意	
		ふ ぶ き		徐 行	
		な だ れ		大型車通行止	
		波 浪		車 輛 通 行 止	
こ の 先		大 雨		通 行 止	
○○より先	※○○は必要によ り表示し、字数 は極力おさえ る。	暴 風 雨		交 通 渋 滞	
○○方面		事 故		チェーン必要	
○○付近		交 通 事 故		スリップ注意	
○○以遠		交 通 渋 滞	路 面 凍 結		
○○地方		落 石			
○○地内		が け 崩 れ	う 回 路 有		
○○県内		災 害 発 生	う 回 路 無		
○ ○ 峠		工 事 中	う回路○○	※○○は道路名又 はルート番号を 表示する。	
○ ○ 橋		除 雪 中	○○○○へ		
○○トンネル		路 面 決 壊	(道路名)		
○○バイパス	路 面 凍 結				
○○～○○	路 面 冠 水		○ ○ 回 れ		
	通 行 止	※通行止は赤色で 表示する。	警 報 発 令 中		
○ ○ ○ ○ (道路名)	大 型 車 通 行 止		注 意 法 発 令 中		
	車 輛 通 行 止				
	大 型 車				
↑○○ k m		↑○○ k m		↑○○ k m	

※3ブロック変換方式